

所信

一般社団法人東海青年会議所
2025年度 理事長 小野久仁陸

はじめに

1969年、我がまち東海市の誕生と同じ年に全国410番目の青年会議所として東海青年会議所は発足しました。創立以来、永きに亘り「明るい豊かな社会の実現」に向け、このまちの先駆けとなる数多くの事業を展開し、課題解決に真摯に取り組んで参りました。我々はこの輝かしい歴史に敬意を表するとともに、その功績と伝統を胸に刻み責任ある行動をとらなければなりません。

東海市は鉄鋼業をはじめとする産業、利便性の高い交通網の発達などにより住みよいまちに発展して参りました。今日までの発展があったのは先人たちの「東海市を良いまちにしたい」という熱い想いのもと、努力を重ね続けてきたことにほかにありません。私はそんな東海市が大好きであります。大好きなこのまちがこれからも発展していく為には、我々青年会議所メンバーも先人達の想いを引き継ぎ、地域の課題に積極的に立ち向かい、活動していく必要があります。自分たちの住むまちを好きになるということは「明るい豊かな社会の実現」に向けての第一歩ではないかと確信します。

時代の流れに沿った組織運営

いつの時代も基盤となる組織運営、財務管理は厳格に行っていかなければなりません。近年、コロナ禍を経てWEB等の急速な発展により様々なものがオンライン化してきております。組織運営や財務管理に関しても時代の流れに沿って運営していかなければ変化に対応できないと考えます。最高意思決定機関である総会や理事会に関しても従来のやり方に捉われず、柔軟な発想をもって変化させていく事が必要です。時代の流れに対応し様々なものを変革することにより東海青年会議所をさらに成長させて参ります。

しかしながら、様々な事が変革しても組織運営を自分ごとと捉えることを忘れてはなりません。メンバー一人ひとりが組織運営に関わっていることを自覚し、どのような形で組織が運営されているのか、事業がどのように構築され実現できているのかを知る必要があります。私たちの活動は厳格な組織運営の元に成り立っていることを改めて知り、理解することがより良い組織の構築に繋がり、組織はさらにレベルアップし、地域の為の運動を繰り広げていくことができるのです。

郷土を好きになるということ

我がまち東海市は非常に住みよいまちであります。鉄鋼業を中心とした産業、利便性の高い交通網、太田川駅を中心とした再開発によって日々まちは発展し続けております。先にも書いた通り私はそんな東海市が大好きであります。しかし、次世代を担う子どもたちはどうだろうか。自分の住んでいるまちのことをどれだけ知っているのだろうか。先人たちの弛まない努力で発展させてきたこのまちを、現在は我々はその想いを引き継ぎ、良いまちにしようと努力しています。しかし、「自分の住んでいるまちを良いまちにしたい」という想いを私たちの世代で止めてはなりません。次世代を担う子どもたちに引き継いでいく事こそが我々の使命でもあります。そのためにも、自分が住むまちを好きになってもらう必要があります。自分たちの住まうまちはいったいどのようなまちなのだろうか。どのような産業があり、どのように発展していったのだろうか。次世代に伝えていく為にも、今一度学び直し、魅力を考える必要があります。

めまぐるしく変化する時代の中で働くということにも大きな変化がありました。転職するのが当たり前の時代になり、自分に合った仕事を探す。それも一つの働き方です。自分に合った仕事を探す為にも、まずは自分の住んでいるまちに目を向けていただきたいと思います。我がまち東海市にも様々な産業があり魅力のある仕事がたくさんあります。子どもたちには、たくさんの選択肢がある中でも自分の住んでいるまちの産業がどのようなものであるか、どのような仕事をしているのかを知ってもらいたい。そこで自分の住んでいるまちの産業や仕事に魅力を感じてこのまちを好きになってもらいたい。次世代を担う子どもたちに自分の住んでいるまちを知り、

東海市の新たな魅力を発見してもらうことで郷土を想い、東海市を好きになっていただける事業の構築を行って参ります。

仲間と共に活動する組織の魅力

組織とは「人」が集まることによって成り立ちます。我々青年会議所も組織である以上「人」が集まらなないと活動ができません。私が入会した時に70名程いたメンバーも現在はその半数近くまでメンバーが減少してしまいました。青年会議所活動の魅力の一つは様々な人々と出会える事です。志を同じくする仲間を集め、一緒に活動することで絆を深めることができるのです。その仲間を一人でも多く集めることで組織としての魅力も高まっていくと確信しています。魅力のある組織であり続けるためにはメンバー一人ひとりが青年会議所を魅力のある組織であると感じ、そのことを内外に伝えていかなければなりません。青年会議所活動に魅力を感じ、その価値を見出せれば、自ずと共に活動のできる仲間に伝播し、組織としての成長にも繋がるはずです。

また、「人」とは自分を成長させてくれる非常に大きな存在なのではないでしょうか。「人」とどれだけ多く出会い、関わることによって自らの成長具合は大きく変わってくると感じます。青年会議所はその「人」と出会う機会に非常に恵まれています。つまり、成長できる機会に恵まれているということです。「人」に会い仲間を作り、魅力を感じて自己を成長させる。この魅力を伝播させていくためにも我々はどのような方にも広く門戸を開き、多くの候補者の方々とお会いします。そして青年会議所活動の魅力を伝え、新たな仲間と共に今後のまちづくりの流れをさらに強く、大きくして参ります。

組織の育成と交流

近年、東海青年会議所は長くご活躍されていたメンバーがご卒業されて様々なところで変化が生じています。若年層のメンバーが減り、在籍年数の短いメンバーが増えて来ているのが現状であります。組織として活動を続けていくためには組織の事を知る必要があると考えます。青年会議所とは何か、LOMとは何か、メンバーも新入会員の頃一度は聞いたことがあると思います。しかしそれを忘れてはいないでしょうか。今一度原点に立ち戻り学び直すことにより、今後の東海青年会議所を背負っていく人材を育成します。自分たちで学び、次世代へ繋げていく、組織が成長し続けるために必要なことを本年度は行って参ります。

魅力のある組織としてあり続ける為には、仲間との絆を深め、結束力を高める事こそが必要であります。メンバー同士が個々の繋がりをより大切に、各委員会活動においても笑顔が溢れ、それぞれの事業が純粋に楽しく、皆で一つの目標を達成する喜びを分かち合いながら、LOM全体の結束力をより強固なものにしていきます。青年会議所活動の基本はLOMだと私は思います。その中で絆を深め楽しく青年会議所活動を行うことこそ組織の発展につながると確信しています。

笑顔が溢れ、楽しく活動を展開できることが東海青年会議所の活力となり、「明るい豊かな社会の実現」に確実に繋がるはずです。

むすびに

私が東海青年会議所の門を叩いたのは2015年、月日が経つのは早いもので本年度は2025年になります。入会当初は右も左も分からず活動してきましたが、今の自分があるのは青年会議所とそこで出会った仲間や諸先輩方のおかげであると強く感じております。入会以来青年会議所活動を通じて様々な人々と出会い、一緒に活動をしてきました。時には未熟な自分を成長させてくれる先生として、時には喜びや感動と一緒に味わう仲間として、いろいろな経験をさせていただきました。これは青年会議所活動をしていなければできなかったと自信をもって言えます。人との出会いは宝であります。組織や人が成長するもしないも人によって変わってきます。人との出会いによって仲間ができ、絆を深め成長する。そんな素晴らしい体験ができるのが青年会議所です。素晴らしい組織ということを広め、次世代に繋いでいくことも我々の使命であると考えます。人が集まり笑顔で楽しく活動できれば、自ずとそれは様々な場所に伝播し、さらに人を呼ぶこととなります。そんな東海青年会議所に導いていきたいと思っております。郷土へ

感謝の気持ちを忘れず、愛するまちが栄え、さらに発展し、地域への恩返しができることを胸に、情熱を持って一年間活動して参ります。